

令和4年度 富島中学校「学校評価アンケート」のまとめ

令和5年2月20日
日向市立富島中学校

本年度は、これまでの紙ベースでのアンケートではなく、スマートフォン等でのデジタルでのアンケートとして、「学校評価アンケート」を実施させていただきました。
アンケートの集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

〈アンケートの回答率〉 ※（ ）は昨年度同一学年の結果

	1年	2年	3年
生徒	95.1 %	83.6% (87.8%)	86.8% (92.8%)
保護者	73.9 %	62.6% (84.3%)	49.3% (78.7%)

※ アンケートの各項目は、保護者向けを使用しています。

◆ アンケート結果の総括

まずは、アンケート方式をデジタルに変更した影響かもしれませんが、上記のように回答率が極端に低くなりました。

回答結果につきましては、学校における日常的な指導および学校からの発信、地域との連携等の取組に対し、肯定的な評価をいただいたものも多く見受けられました。

反面で、全体的に厳しい意見も多く、学校として謙虚に受け止め、改善のために真摯に努力して参ります。具体的には、各項目の分析結果にあるように多くの課題が残されており、アンケートの結果やご意見を参考にしながら、今年度の教育活動を振り返るとともに、次年度の学校教育活動に活かしていきたいと考えています。

○ よい評価項目 (※アンケートの項目は要約しています。)

「1 楽しい学校生活」の項目では、どの対象(生徒・保護者・教職員)も肯定的な回答が85%以上にのびました。また、「11 安全教育」と「16 充実した部活動」の2つの項目では、生徒・保護者ともに肯定的な回答がいずれも85%程度の結果になっています。

○ 課題となる評価項目

「8 家庭学習の手立て」「14 生徒会活動等の充実」の2項目では、保護者・教職員ともに30%前後の否定的な回答が見られ、「12 夢や目標がもてるような学習活動」の項目では、保護者・教職員ともに約20%以上が否定的な回答をしています。

○ 昨年度の評価との比較

「3 教育相談」「6 分かりやすい授業」「15 学校行事での達成感や成就感」の項目では、生徒の回答が昨年度より評価が上がっています。

課題となる評価になったのは、「8 家庭学習への手立て」「9 いじめ等がない学校づくり」「12 夢や目標がもてるような学習活動」の3項目でいずれも評価が下がっています。

○ 生徒・保護者と教職員との認識のズレ

「3 教育相談」「9 いじめ等がない学校づくり」の2項目は、いずれも保護者の評価が低く、生徒・教職員の評価が高いという結果でした。

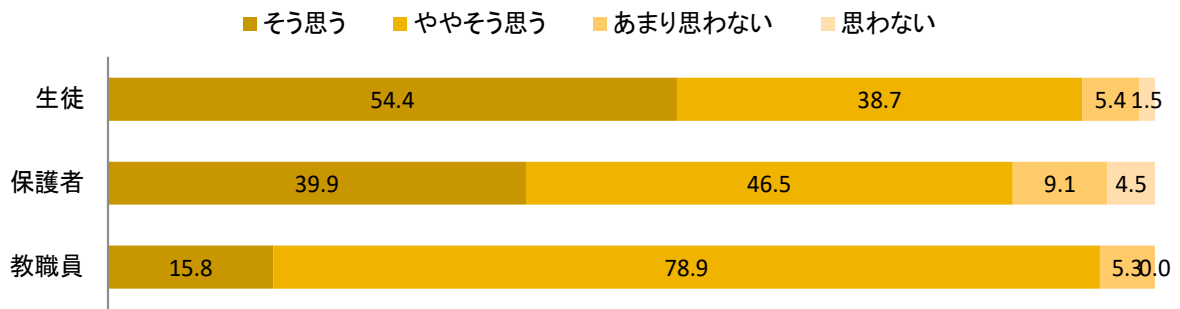
※ 問の17～19の3項目は新たな項目として追加させていただきました。いずれも日向市が取り組んでいる小中一貫教育に関する質問項目でしたが、評価は低い結果となりました。PTA総会資料等に掲載はしていましたが、学校からの発信が弱かった結果だと真摯に受け止めています。

以下、項目ごとの分析結果を掲載していますので、ご確認ください。

◆ 項目ごとの分析結果

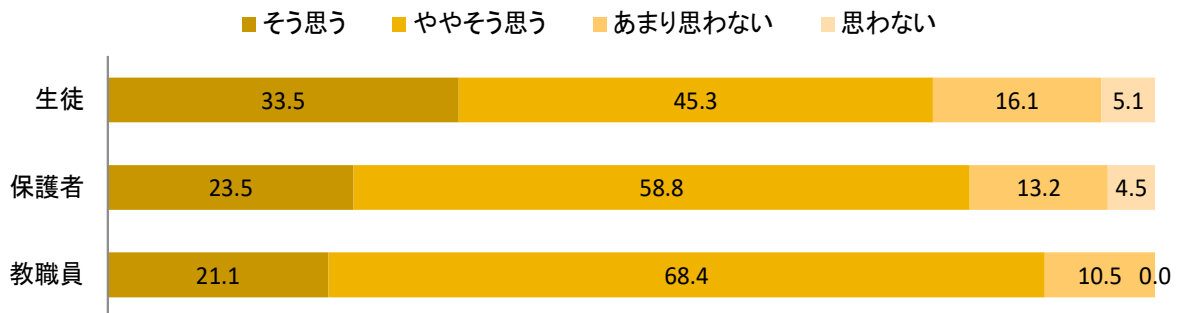
○ 学校運営に関する項目

問1 学校生活～子どもさんは、楽しい学校生活を送れていると思いますか。



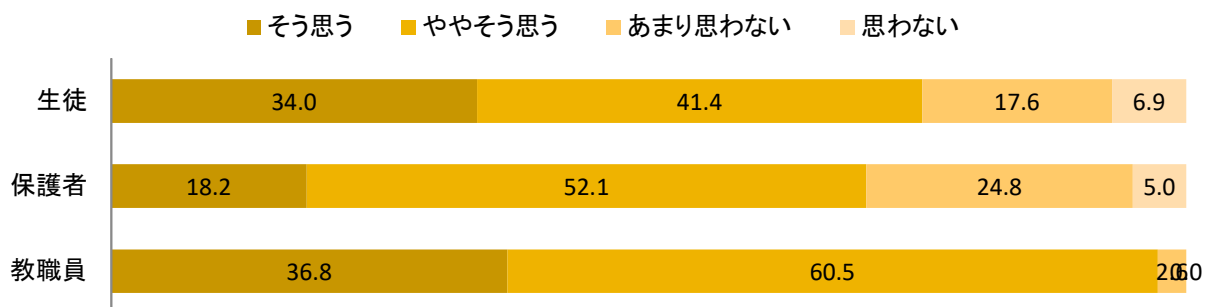
おおむね楽しい学校生活を送れているようですが、生徒の6.9%（昨年度6%）、保護者の13.6%（同9%）が「あまり思わない、思わない」と回答しています。今後も学校行事や授業の進め方、学級経営の在り方等、生徒が満足できる学校生活を送ることのできる学校運営の改善に更に努めていきます。

問2 情報提供～学校は、『学校だより』やHP、学級通信等により、家庭や地域に情報発信を積極的に行っていると思いますか。



学校からマチコミ（メール）やHP（ホームページ）を始め、通信等で様々な情報発信をしているつもりですが、生徒の21.2%（昨年度17%）、保護者の約17.7%（同12%）が「あまり思わない、思わない」と回答しています。情報発信の在り方や内容を検討し、改善に努めていくとともに、配付したプリント類が保護者の手元に確実に届くよう、生徒への働きかけも行っていきます。

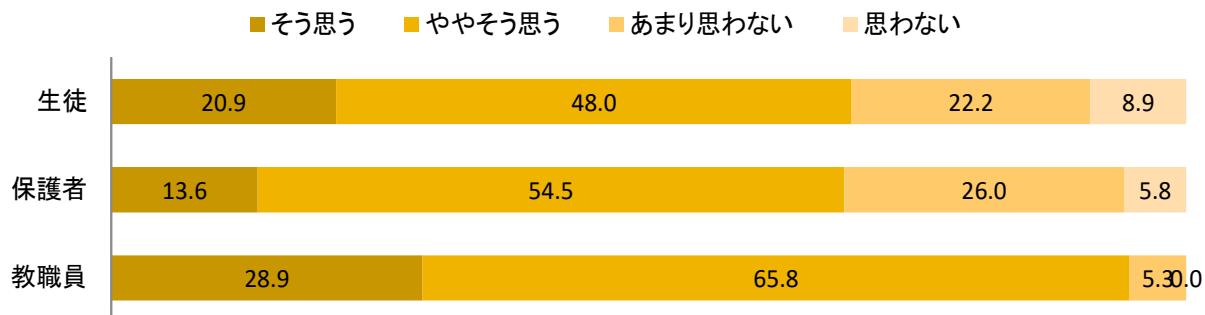
問3 教育相談～学校は、生徒や保護者からの相談に適切に応じていると思いますか。



生徒の24.5%（昨年度33%）、保護者の29.8%（同14%）が「あまり思わない、思わない」と回答しています。

この結果を真摯に受け止め、一層生徒や保護者からの相談に対して丁寧に対応する体制づくりや校内における教育相談の充実、時間の確保に努めていきます。

問4 破損箇所の修理や環境美化～ 学校は、危険箇所の把握や修理、環境美化に積極的に取り組んでいると思いますか。

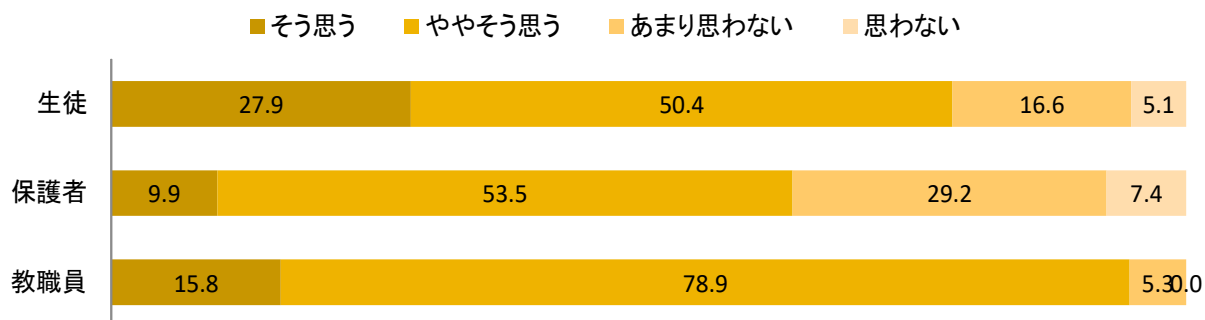


生徒の31.1%（昨年度37%）、保護者の31.8%（同13%）が「あまり思わない、思わない」と回答しています。

今年度も、予算の範囲内でできる限りの改善に取り組んでおり、市にも要望を出しています。今年度は、昨年度に続きトイレの洋式化を順次（年次計画）進めており、設置しています。また、2棟階段の手すりの取付、台風で被害に遭った渡り廊下の屋根の修理も実現できました。これからも積極的に環境美化に努めるとともに、市教育委員会と連携して施設の整備に努めていきます。

○ 学習指導に関する項目

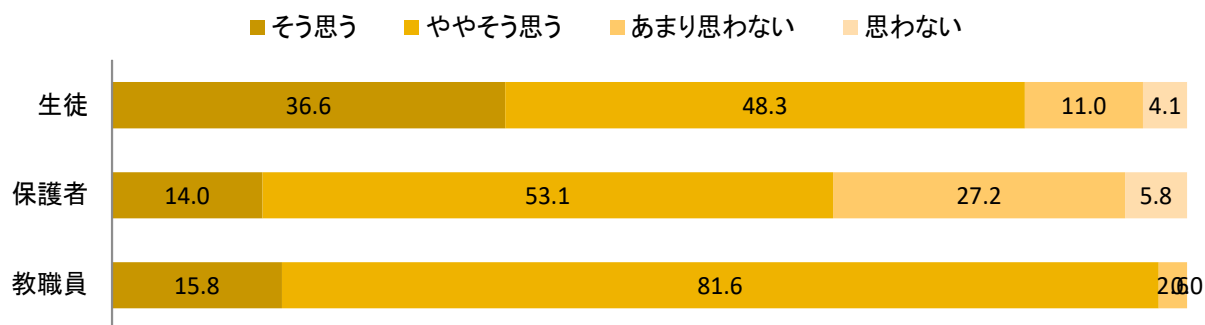
問5 学習意欲が高まる授業～先生は、生徒の学習意欲が高まる授業に取り組んでいると思いますか。



生徒78.3%（昨年度77%）と保護者63.4%（同75%）が「そう思う、ややそう思う」と回答しています。

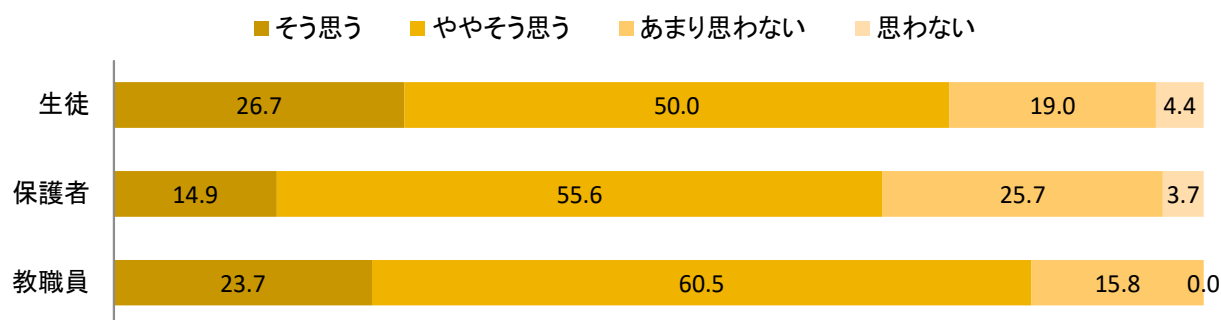
今年度は、『確かな学力』を身に付け、自ら学び考え、主体的に学習できる生徒の育成～指導方法の工夫とICTを活用した授業改善を通して』を研究テーマとして、授業改善に取り組んでいます。特に、タブレット等のICT機器の効果的な活用や話し合い活動を取り入れた工夫など生徒の興味・関心を高める授業を目指しています。今後も、さらに学習成果の出る授業の工夫に努めていきます。

問6 分かりやすい授業～先生は、分かりやすい授業に取り組んでいると思いますか。



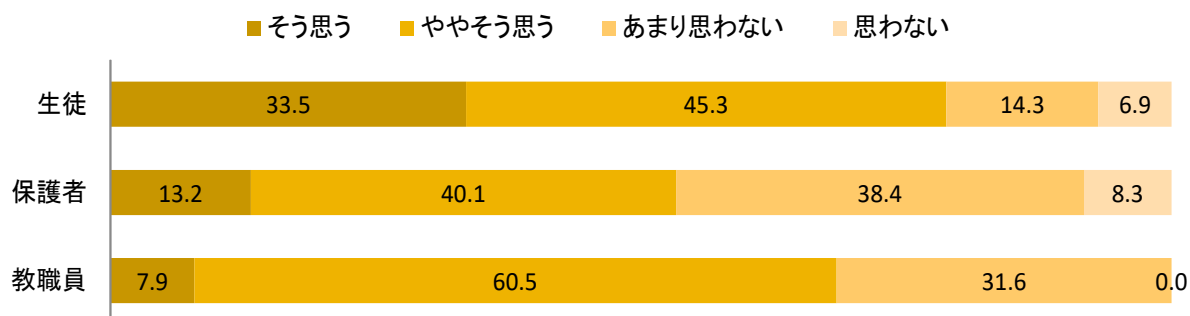
生徒の約85%（昨年度90%）が「そう思う、ややそう思う」と回答していますが、保護者は、67%とやや乖離しています。
 今年度も、学年ごとに生徒の実態を把握し、具体的な手立てを講じるよう工夫しています。2, 3年生の数学・英語では少人数指導のできる限り一人一人に指導を行き渡るよう工夫したり、全教科でICTを活用した授業改善にも取り組んでいます。
 今後も授業の改善とともに、きめ細かな学習指導の充実にも取り組んでいきます。

問7 話し合い活動等を取り入れた授業～先生は、自ら考え話し合い、発表する活動など様々な活動を取り入れた授業に取り組んでいると思いますか。



生徒の76.7%、保護者の70.5%が「そう思う、ややそう思う」と回答しています（昨年度約80%）。
 これまでも学習課題の提示や発問の仕方、指導過程の工夫に努め、また話し合い活動やペア学習等、学習効果を高める活動も積極的に取り入れてきています。現在は、それにタブレット等のICTを活用しながら生徒の話し合い活動を取り入れることが求められているため、各教科で試行しながら学習の充実に努めていきます。

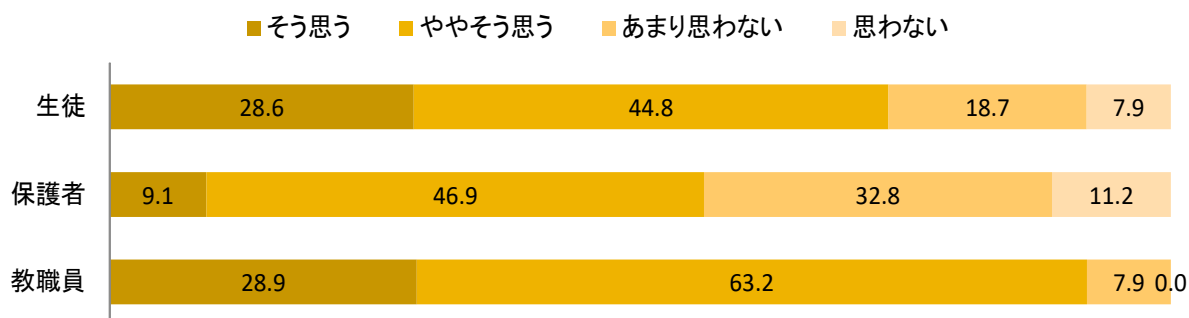
問8 家庭学習の手立て～先生は、宅習や課題等の家庭学習の手立てを行っていると思いますか。



生徒の78.8%（昨年度84.8%）が「そう思う、ややそう思う」と回答している反面、保護者の46.7%（同28%）が「あまり思わない、思わない」と回答しています。
 毎日の課題や週末課題の内容の充実と事後の見届けを通して、今後も家庭学習の充実に努めていきます。宅習に関しては、宅習のやり方や内容の充実に向けて指導してまいります。また、昨年度から取り組んでいる「ノーメディアタイム」を通して、家庭と連携を取りながら学習時間の確保に努めてまいります。

○ 生徒指導に関する項目

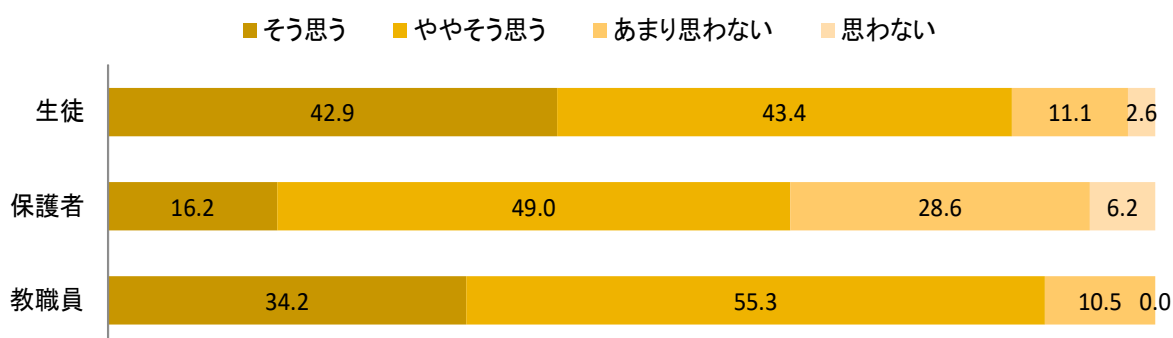
問9 いじめ等がない学校づくり～学校は、いじめ等がない明るく楽しい学校づくりに取り組んでいると思いますか。



生徒、約75%が「そう思う、ややそう思う」と回答しています（昨年度、生徒ほぼ同じ）が、保護者は56.0%（昨年度75%）と乖離しており、40%以上が否定的な回答をしています。

この結果については真摯に受け止め、今後も毎日の生徒とのコミュニケーションや「生活の記録」、毎月のいじめアンケート等を通して、いじめやトラブルの早期発見とその解決に努めます。また、道徳の時間や日常生活の中で人権意識の高揚に取り組むとともに、学校行事や生徒会活動等の充実を図り、生徒が学校生活の中で充実感や達成感を実感できるような場面を設けてまいります。

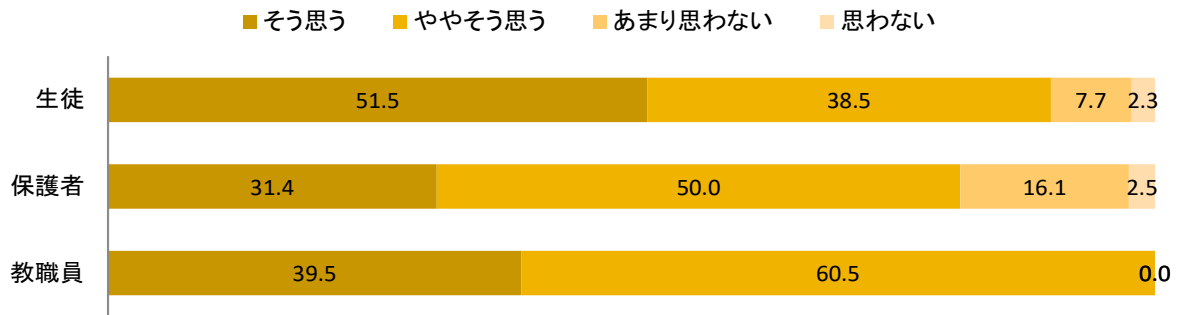
問10 社会性や規範意識を身に付けさせる指導～学校は、生徒に集団における生活習慣や社会性・規範意識を身に付けさせる指導を行っていると思いますか。



生徒の86.3%（昨年度ほぼ同じ）が「そう思う、ややそう思う」と回答しています。保護者は65.2%（昨年度85%）が肯定的な回答となっており、やや生徒との乖離が見られます。

今後も集団における生活習慣や社会性・規範意識が身に付くよう継続して指導するとともに、これまで以上に保護者への発信にも力を入れて参ります。

問11 安全教育～学校は、避難訓練や登下校指導等の交通安全指導、熱中症予防等の安全教育を積極的に行っていると思いますか

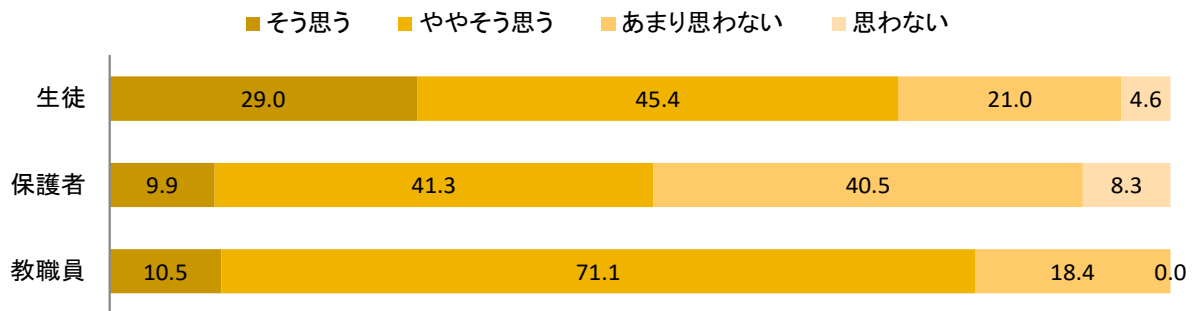


生徒の90%（昨年度とほぼ同じ）、保護者の81.4%（昨年度89%）が「そう思う、ややそう思う」と回答しています。
 今後も計画的に避難訓練や交通安全指導、安全教育を当事者意識をもたせて実施していきます。特に、本年度地域全体で取り組んだ「防災」については、その意識をさらに高め、次年度に繋げていきます。また、登下校指導についても、自分だけでなく他人の「命」も守るという視点で指導を重ねていきます。

○ キャリア教育・特別活動等に関する項目

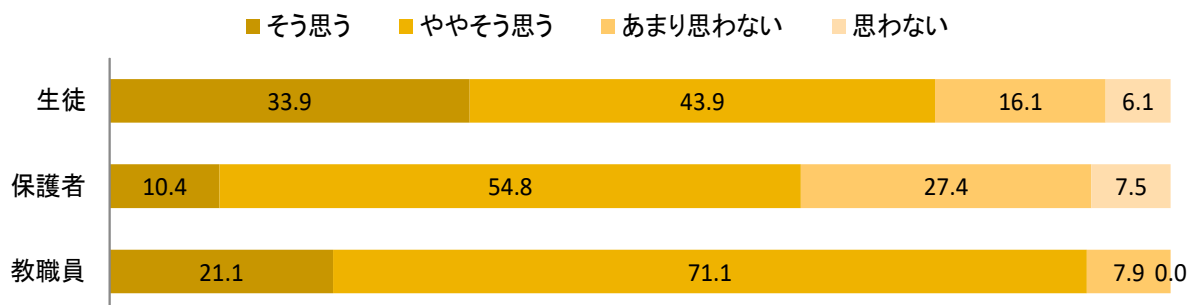
問12 夢や目標がもてるような学習活動

～学校は、生徒に将来の夢や目標がもてるようなキャリア教育に積極的に取り組んでいると思いますか。



生徒の74.4%（昨年度76%）が「そう思う、ややそう思う」と回答しています。反面保護者の約半数が否定的に回答しています。
 各学年でキャリアに関する指導を行っていますが、本年度2年生では、「富中よのなか教室」を実施し、県内の企業の方々と意見交流会を行いました。コロナ禍で実施を見送ってきた職場体験学習も次年度は実施する予定にしており、様々な体験を通して、将来について考える機会の設定や学習活動の充実に努めます。

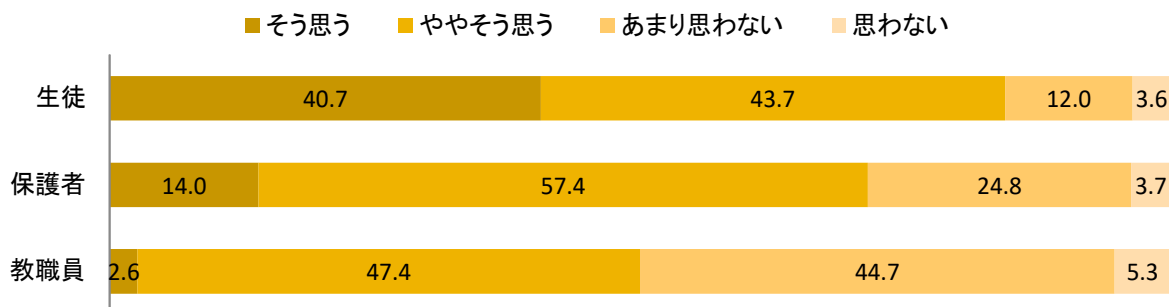
問13 人権教育の充実～学校は、人を思いやる気持ちや人を差別しない心を育てる人権教育の充実に取り組んでいると思いますか



生徒の77.8%（昨年度79%）が「そう思う、ややそう思う」と回答しており、保護者は65.2%（同78%）とやや低くなっています。

人権教育の視点に立った日常的な指導や道徳の時間の充実の他、人権週間の取組や生徒会活動の充実等を図りながら、教育活動全般を通じたさらなる人権意識の高揚に努めます。また、人権尊重に関する職員研修の充実にも努めて参ります。

問14 生徒会活動の充実～生徒会活動やボランティア活動は、生徒の自主的・主体的な活動になっていると思いますか。

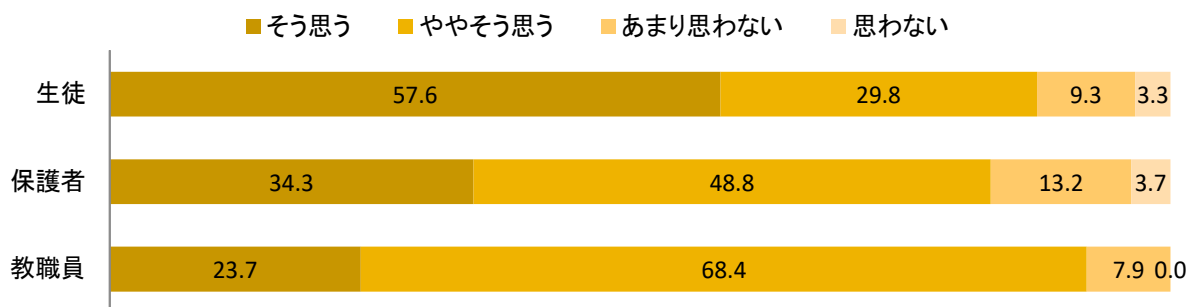


生徒の84.1%（昨年度85%）、保護者の71.4%（同82%）が「そう思う、ややそう思う」と回答しています。

全校生徒をあげての年間の取組として、月1度の「通学路ピカピカ大作戦」や「ペットボトルキャップの回収活動」の他、生徒会執行部が校区内の小学校を訪問し、「小中あいさつ運動」を実施しています。また、本年度は校則改正についても着手し、生徒の自主的な活動がさらに充実するよう、学校としても支援を行っていきます。

問15 学校行事での達成感や成就感

～子どもさんは、体育大会や合唱コンクールなど学校行事に、生き生きと取り組み、達成感や成就感を感じていると思いますか。

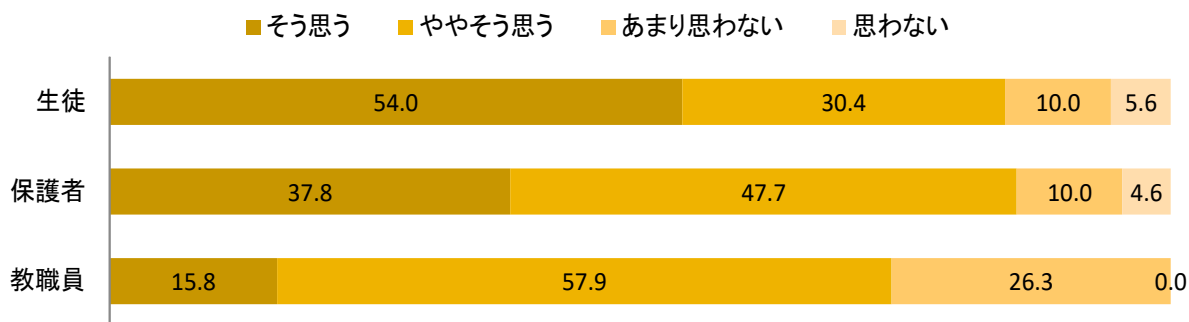


生徒と保護者の約85%（昨年度約85%）が「そう思う、ややそう思う」と回答しており、おおむね学校行事で達成感や成就感を感じていることが推測されます。

昨年度に引き続き今年度も、コロナ禍で学校行事が規模縮小や制限はあったものの、体育大会や合唱コンクール、修学旅行が実施できたことが子どもたちのにとって大きかったと思われます。

コロナ感染症の収束を願いながら、今後も生徒が達成感や成就感を得られるような手だての工夫と内容の充実にも努めていきます。

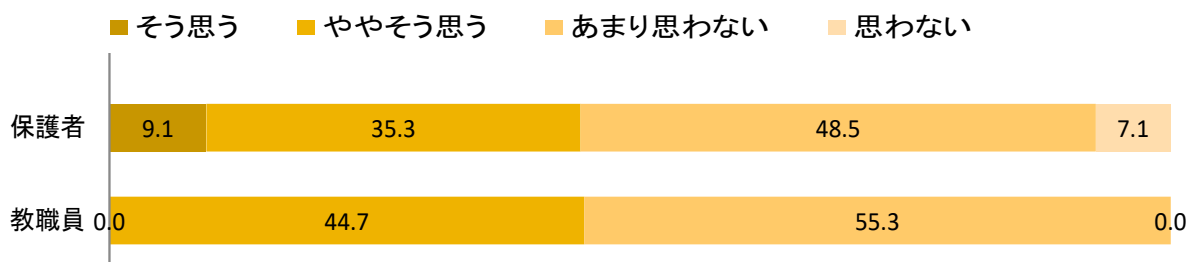
問16 充実した部活動～部活動は、生徒にとっての人格形成や学校の一体感の醸成等につながっていると思いますか。



生徒の84.4%、保護者の85.5%が「そう思う、ややそう思う」と回答しています（昨年度ほぼ同じ）。

本校の子どもたちの活躍が期待される部活動においては、本年度もコロナ禍で様々な制限を受けることもありましたが、限られた時間の中で生徒は日々熱心に取り組んでくれています。また、各種の大会において好成績を収めている部も多くあります。これからも、後援会の協力をいただきながら、生徒の人格形成の場として充実した活動になるよう努めてまいります。

問17 グランドデザインの共通理解～小中一貫教育のグランドデザインについて、保護者や地域の共通理解が図られていると思いますか。



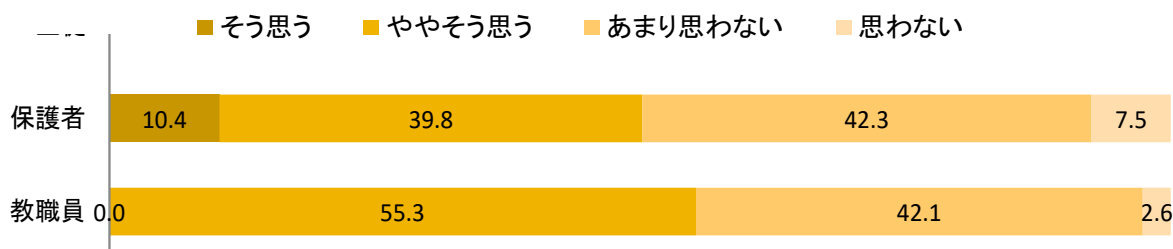
保護者の55.6%が「あまり思わない、思わない」と回答しています。

小中一貫教育のグランドデザインについては、PTA総会資料に掲載しておりましたが、総会が中止となったため、十分な説明ができておりませんでした。また、年間を通して学校からの発信が不足していたのも事実であります。

その反省に立ち、地域全体で学校をつくっていくという具体的な方針でありますグランドデザインをあらゆる場面で示していけるよう努めて参ります。

問18 めざす生徒像への小中の共通実践

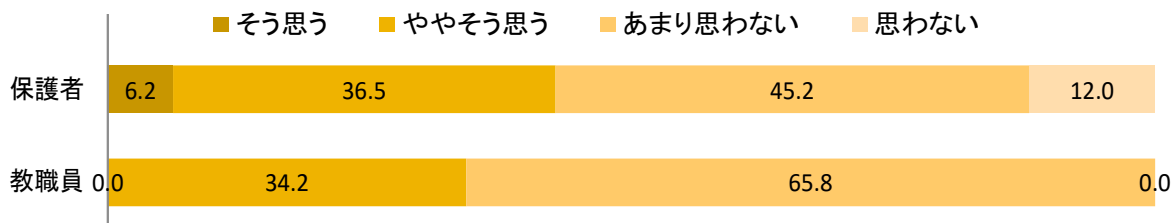
～めざす児童生徒の姿の実現のために、中学校区内の学校で共通実践が進められていると思いますか。



保護者の約半数が「あまり思わない、思わない」と回答しています。
上記の間17と同じく、やはりグランドデザインについての周知ができていないことが原因と思われます。次年度は周知の徹底を図っていきます。

問19 めざす生徒像に近づいているか

～小中一貫教育の取り組みにより、めざす児童生徒の姿に近づいていると思いますか。



保護者の約半数以上が「あまり思わない、思わない」と回答しています。
上記の間17と同じく、やはりグランドデザインについての周知ができていないことが原因と思われます。次年度は周知の徹底とともに、めざす生徒像に向けて職員全体で取り組んで参ります。